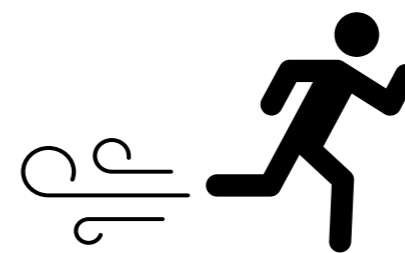


タイトル	遅刻 ——なぜ人は時間に遅れるのか——		
所属	中京大学現代社会学部 岡部ゼミ	氏名	富松佑菜

【問題設定】

- ・主に学生の時間意識に注目
- ・遅刻=良くないことという意識があるのに遅刻してしまうのはなぜか
- ・遅刻する人としらない人にはどんな違いがあるのか(背景、理由、価値観etc.)



【調査概要】

- ・文献調査 → 一般的な遅刻、時間意識とは何かを知る
- ・学生に対して遅刻、時間意識についてのアンケート調査 → 学生のリアルな声を知る
- ・海外との違いはあるのかインタビュー調査 → 知りたいという声が多かった

【調査内容】

- 文献調査
 - ・時間意識が生まれたのは明治時代初期
 - 西洋に合わせた時計、鉄道の誕生により
 - ・この頃から学校教育でも時間に厳しくなった
 - ・社会的な手抜き...集団で作業する方が1人当たりの努力の量が低下すること
 - 高校までと違い大人数での講義が多い大学生は怠ける
 - ・セイコーによる待つ/待たせる許容時間の調査
 - 気遣い度は家族<友人<恋人<目上



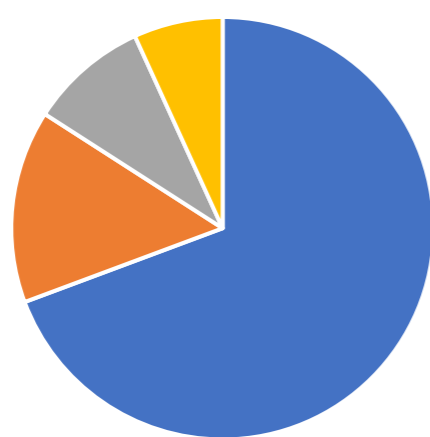
*参考文献

- ・橋本敦彦、栗山茂久 編集2001「遅刻の誕生 近代日本における時間意識の形成」
- ・野口哲典著 2006「<遅刻・締切>いつもルーズな人のクスリ」
- ・西方毅、本間玖美子 編著 2010「子どもと生活」
- ・釘原直樹著 2013「人はなぜ集団になると怠けるのか」
- ・山本敏郎、藤井哲之、高橋英児、福田敦志 著 2014「新しい時代の生活指導」
- ・一般社団法人 日本時計協会ホームページ「日本の産業時計概史」
<https://www.jcwa.or.jp/etc/history01.html> 閲覧日 2020年1月15日 最終更新日不明

	待つ (分)	待たせる (分)
目上の人	26.4	8.8
家族	22.1	20.9
友人	22.0	17.9
恋人	29.9	20.0
全体	25.1	16.9

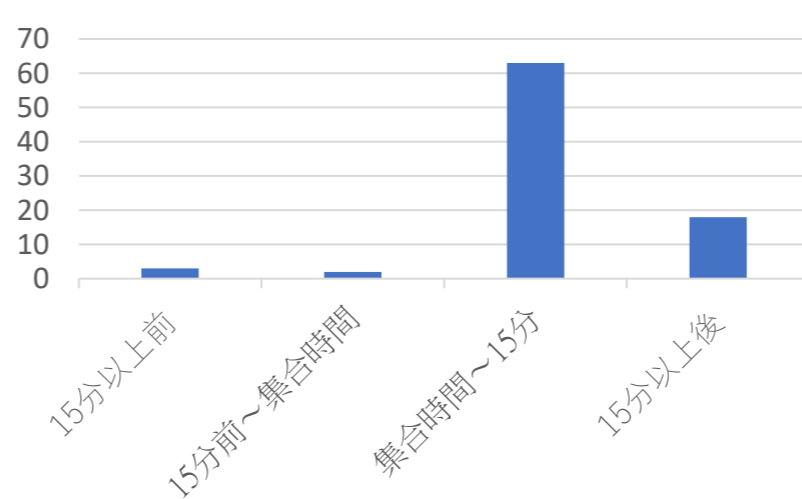
●学生に対するアンケート

一番遅刻するのは (88人回答)



■ 授業、講義 ■ 人との約束 ■ アルバイト ■ サークル

どこから遅刻だと思うか



辞書によると「遅刻」とはきまった時間に遅れること。

・遅刻する理由は?

寝坊、準備が間に合わなかった、周りの人も遅刻するから、電車の遅延や渋滞、行く気が起きなかった、予定を忘れていた

・遅刻しない理由は?

迷惑をかけるから、当たり前だから、焦るのが嫌、遅刻して後悔した経験があるから、単位を落とすから、バイトは義務感、遅れた時の周りの目線が嫌

●長期間海外に行っていた人にインタビュー

- ・公共交通機関はかなり時間に緩いと思った
- ・留学先の学校で遅刻してくる人が多かった



【まとめ・考察】

- ・遅刻しない人の中でも2種類
- 相手のことを考える人(相手に迷惑をかけたくない)
- 相手によって時間意識が変わるので遅刻することがある

- 自分のことを考える人(自分の評価や信頼のため、ゆとりをもって行動したい)
- 常に意識が変わらないので誰に対しても遅刻しない



学生に絞って調査をしているが、今後は社会人や高校生までの違い、外国人との違い、家庭環境(親の時間意識や躾)の違いなど様々な条件でグループ分けをしてみたい。